

テクノエイド (上級)研修会

優良賞

立位保持が困難な利用者に対する、 スライディングボードを使用した移乗方法の確立

鹿教湯三才山リハビリテーションセンター
看護小規模多機能型居宅介護 おおぞら
柳沢 章吾

施設概要



- 職場名：看護小規模多機能型居宅介護 おおぞら
- スタッフ：管理者1名、看護師5名、介護福祉士11名、ケアマネ2名
- 特徴：介護保険サービスの一つ。在宅で生活する医療依存度の高い方を中心に、デイサービス・宿泊・訪問看護・訪問介護のサービスを組み合わせ365日24時間の体制で在宅生活のサポートをしている

事例概要と課題

対象者: 左被殻脳梗塞 右変形性膝関節症 筋力低下と膝の痛みのため立位保持が困難
移乗方法: 腋窩を支えて全介助(プッシュアップによる協力動作は得られる)

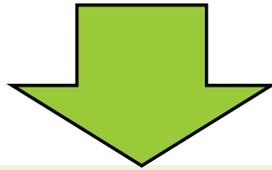
- 脳梗塞を起因とする意欲や筋力の低下により立ち上がりや立位保持が困難
腋窩を支えて全介助で移乗
- 自力での移乗はプッシュアップにより腰を浮かせて数cm横にずれる程度



- 自力移乗は車椅子とベッドの間に座ってしまい転落や皮膚損傷のリスクあり
- 臀部を浮かす→座り直しを繰り返すため、疲労や膝の痛みが増強
- 腋窩や臀部を支える介助者の身体的負担があり

課題に対する対策

- ・利用者の持っている力を活かすことが出来る環境作りの検討
- ・利用者が力を十分発揮できる姿勢作りの検討



1. スライディングボードを使用しプッシュアップする力を使うように促す
2. 足底をしっかりと付けた、力の込めやすい姿勢作り

対策実施後の結果

- 車椅子とベッドの間の隙間をスライディングボードで埋めることで、移乗に対する安心感に繋がった。隙間だった部分にも手を置けるため利用者から「**力が入れやすい**」との声が聞かれた
- 利用者が意識して腕の力を使う事により、膝への負担が減少した。変形性膝関節症による膝の痛みが悪化せず**ADLの低下を防ぐこと**に繋がった
- 端座位になった際足底がしっかり床に着くよう座り直しを行い、少ない力で立ち上がることができるようになった。利用者からは「**前より移るの楽になった**」との言葉が聞かれた
- 上記のような不安や痛みが軽減したことで、移乗に対する**本人の意欲低下を防ぐこと**に繋がった
- 膝の負担減少や意欲低下を防ぐといった、職員が介入できない在宅での移乗を見据えた本人主体の移乗方法を実施した。それにより、**自宅での主介護者となる家族への負担軽減**にも繋がった